

平成25年度事業報告

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

わが国は、「失われた20年」と表されるように長きに渡り経済の低迷が続き、GDPも中華人民共和国に抜かれ、世界経済における日本の地位は低下の一途をたどり、社会に深刻な影響をもたらしました。

さらには、急速な少子高齢社会の進行が相成り、社会保障制度についても抜本的な改革が進められております。

安倍政権の発足以来、種々の経済政策がとられ、円安、株価の上昇等の効果があられ、首都圏の大手企業においては回復の傾向ではありますが、福岡県等の地方都市においては、未だ厳しい経済状況が続いております。

しかし、健康、環境分野は、政府の新成長戦略の中でも重点強化の対象となっており、今後、種々の施策等の対応が図られることが予測されております。

公益法人制度改革においては、平成25年4月より福岡県知事認定の公益財団法人として、事業運営を開始致しましたが、今後の事業展開を鑑み、さらなる公益活動の広域化を目的として、内閣総理大臣認定の公益財団法人へと変更認定を実施致しました。

今後も地域住民の保健・医療・福祉の向上に寄与すべく役職員一丸となって精進して参る所存です。

平成25年度の事業活動は、公益財団法人移行時の事業計画として掲げておりました、学術研究センターを中心とした調査研究、普及啓発、研究助成活動の推進を図って参りました。

また、健診事業等においては、健康施策の推進により地域健診は増加傾向でしたが、職域健診は団塊の世代の退職、製造業におけるオートメーション化等の影響もあり、一般健診、特殊健診等、若干の減少傾向でございました。

今年度は、内閣総理大臣認定の公益財団法人への変更認定を鑑み、受益者ニーズに対応をすべく、胃胸部併用デジタル検診車の整備を行い、精度向上に努めて参りました。

平成25年度の事業運営にあたり関係行政機関、医師会、大学等々のご指導、ご支援のもと円滑な運営が図れましたことに対し、役職員一同深く感謝申し上げる次第です。